

# 国立国語研究所学術情報リポジトリ

『会話から人間を探る！悪態と慇懃無礼、どっちが  
ポライトなの？：  
BTSJ自然会話コーパスの分析とその教材化』

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2021-06-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 宇佐美, まゆみ メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.15084/00003397">https://doi.org/10.15084/00003397</a>

# 『会話から人間を探る！悪態と慇懃無礼、どっちがポライトなの？ ーBTSJ自然会話コーパスの分析とその教材化ー』

宇佐美まゆみ（国立国語研究所）

## 1.はじめに

- 国立国語研究所『BTSJ日本語自然会話コーパス（トランスクリプト・音声）2018年版』とは、シナリオのない自発的な自然会話を、母語場面、接触場面の初対面会話、友人同士の会話、教師と学生の論文指導場面等のサブ・グループごとに、年齢や性を条件統制して収集した会話データをまとめたものである。
- 1会話20分程度の会話、333会話（約79時間）が収録されている。
- **オンラインからの申請者に無償配布** [https://ninjal-usamilab.info/lab/btsj\\_corpus/](https://ninjal-usamilab.info/lab/btsj_corpus/)
- 総発話文数104,489文、総語数920,169語、異なり語数13,331語、話者数（延べ666人、異なり43人）である。
- ここでは、『BTSJ日本語自然会話コーパス（トランスクリプト・音声）2018年版』を紹介するとともに、本コーパスを利用した研究の一例として、悪態と慇懃無礼について、ポライトネス理論の観点から論じる。また、自然会話のWEB教材化についても触れる。

## 2.基本情報

表1『BTSJ日本語自然会話コーパス（トランスクリプト・音声）2018年版』に収録されている会話データの概要

会話の 通し番号	会話 グループ 番号	会話 グループ名	各グループの データの特徴	各グループ内の データ数	各グループの 総会話時間	音声の 有無
001-019	1	親しい同性友人同士（男女）の雑談	同性の友人同士の会話	19会話	444分24秒	無
020-042	2	初対面と友人同士の女性の雑談	女性の、親しい友人同士と初対面の会話	23会話	482分5秒	無
043-052	3	論文指導	教師と学生の面談の会話	10会話	311分	無
053-091	4	女性同士の断りの電話会話	ある学生（女性）をベースに、電話で、先輩・同輩・後輩に依頼の電話をかけた会話	39会話	78分31秒	有

会話グループ23までであるが、（後略）

## 3.会話データとその文字化

会話から人間を探る！  
悪態と慇懃無礼、どっちがポライトなの？

003-01-JM005-JM006より

ライン 番号	発話文 番号	発話文 終了	話者 記号	発話内容
339	314	*	JM006	で、段々だるくなってきてさく笑いがら>(うん)、ま、部活はまあまあやってたけど(うん)、成績なんてのは、もう、模試すら受けなくなって(うん)、もうぼろくそなってて(うん)、そんなとき、高1の終わりぐらいから付き合ってた子だけでも(ほー)、段々段々それに、もうむかつ腹が立ってきて(うん)、<笑い>“何なの?、これは”みたいに<笑いながら>=。
340	315-1	/	JM005	=それで、なに、お前から別れ..
341	316-1	/	JM006	<毎回><[.]、
342	315-2	*	JM005	<話とか>>[.]したくの?><[.]、
343	316-2	*	JM006	<いや>>[.]、毎回、会う度に、なんか、そういう <b>お説教</b> されて、おれ。
344	317	*	JM005	うん。
345	318-1	/	JM006	<b>お説教&lt;笑い&gt;なさって..</b>
346	319	*	JM005	なんくだよ><[.]<笑いながら>。
347	318-2	*	JM006	<b>&lt;それ&gt;&gt;[.]“あーそうですね”</b> とかいって、<聞いて>><[.]、
348	320-1	/	JM005	<それで>>[.]、お前からもう..
349	321-1	/	JM006	<いや>><[.]、
350	320-2	*	JM005	<バイ>>[.]バイだった?>[.]、
351	321-2	*	JM006	おれか、おれからじゃないな。

（中略）

541	498	*	JM006	でもね、 <b>あんま気が合わない人は(うん)、離れてくよ=。</b>
542	499	*	JM006	=だからー、 <b>言葉遣いとかもー(うん)、初めはね、おれのこと“「JM006あだ名”</b> ”とかいって(うん)、なんか、 <b>軽口たた、きあってんだよ、おれも。</b>
543	500	*	JM005	うん。
544	501	*	JM006	<b>ばーんとか頭ぶったりとか。</b>
545	502	*	JM005	うん。
546	503	*	JM006	<b>逆に、そういうことなくなるんだよ&lt;笑いながら&gt;。</b>
547	504-1	/	JM005	<え、そしたら何?><[.]、
548	505	*	JM006	<b>&lt;じ、事務的な&gt;&gt;[.]会話になるんだよ。</b>
549	504-2	*	JM005	「JM006姓」<ーんとか?。
550	506	*	JM006	や、そうじゃないけど、ま、「JM006あだ名」とは言うけど(うん)、普通になんか、事務的な会話になって、だから、“この「学科」の、語劇なんだけど(うん)、これどうするー?”とか。
551	507	*	JM005	<普通じゃん>><[.]、
552	508	*	JM006	<“こ、この>>[.]、このパートを担当してもらえる?”とか。
553	509	*	JM005	超普通じゃん。
554	510	*	JM006	<b>い、今までだったら(うん)、“じゃ、「JM006あだ名”もうこれ”</b> とかいって(うん)、“ <b>決定、はい、練習(うん)してきて、パーン、パーン”</b> だったのに。
555	511-1	/	JM005	<b>一回そこまで&lt;仲良くなってから&gt;ー&gt;&lt;[.]、</b>
556	512	*	JM006	<そうそう、仲良<>>[.]なっってから<笑いながら>。
557	511-2	*	JM005	<b>また、そういう普通の関係になるの辛いよな。</b>

## 7.謝辞

本研究は、国立国語研究所の機関拠点型基幹研究プロジェクト「日本語学習者のコミュニケーションの多角的解明」サブ・プロジェクト（リーダー：宇佐美まゆみ）、およびJSPS科研費18H03581「語用論的分析のための日本語1000人自然会話コーパスの構築とその多角的研究」（研究代表者：宇佐美まゆみ）の成果の一部である。

## 4.ポライトネス理論

ブラウンとレビンソンのポライトネス理論

「フェイス」という鍵概念

人間には、2種類の基本的欲求がある。

ポジティブ・フェイス(positive face)

他者に理解されたい、好かれたい、賞賛されたいという欲求（プラス方向）

ネガティブ・フェイス(negative face)

賞賛されないまでも、少なくとも、他者に邪魔されたり、立ち入られたくないという欲求（マイナス方向）

➤**ポライトネス** は、対話者のこの2種類のフェイスを保つための戦略として規定されるとした。

フェイス侵害度見積もりの公式

$$Wx = D(S, H) + P(H, S) + Rx$$

Wx: 行為 x の「フェイス侵害（FT）の度合い」

D: 話し手(Speaker)と聞き手(Hearer)の「社会的距離（Social Distance）」

P: 聞き手(Hearer)の話し手(Speaker)に対する「力(Power)」

Rx: 特定の文化で、ある行為 x が「相手にかける負荷度(Rank of imposition)」

## 5.ディスコース・ポライトネス理論

(De 値)	-1	-α	0	+α	+1
見積もり差 (De値) の範囲	$-1 \leq De < -\alpha$		$-\alpha \leq De \leq +\alpha$		$+\alpha < De \leq +1$
行動の適切性	過少行動 (無礼)		適切行動 (適切)		過大行動 (慇懃無礼)
ポライトネス効果	マイナス効果		プラス効果 ニュートラル効果		マイナス効果

見積もりの不一致：De値 = Se - He

Se: 話し手側 (Speaker) から見た「話し手の行為のフェイス侵害度」の見積もり (estimate)  
仮に、0から1までの数値で表すことにする

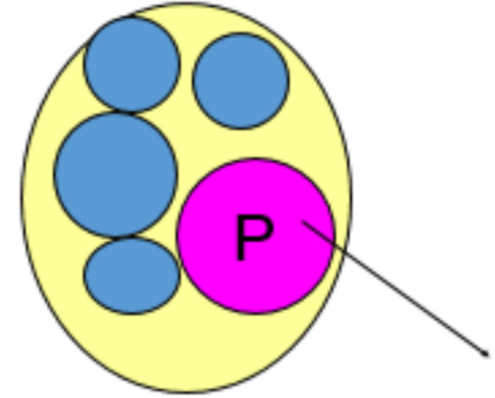
He: 聞き手側 (Hearer) から見た「話し手の行為のフェイス侵害度」の見積もり (estimate)  
仮に、0から1までの数値で表すことにする

α：許容されるずれ幅

「見積もり差 (De値)」・「行動の適切性」・「ポライトネス効果」

## ディスコース・ポライトネス理論（宇佐美,2002）

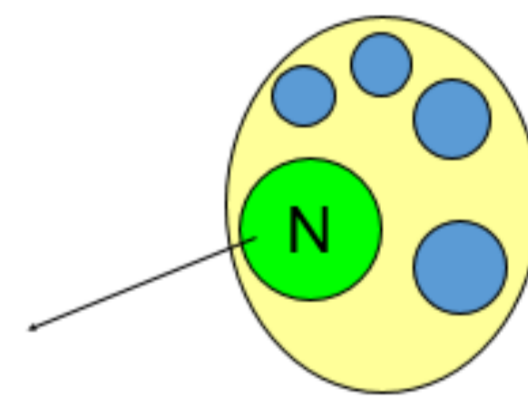
・日本語の会話におけるスピーチレベルシフト



初対面の会話

無標スピーチレベル  
= 敬体

有標行動 = 常体の使用



友達や夫婦間の会話

無標スピーチレベル  
= 常体

有標行動 = 敬体の使用

**DP デフォルトからの離脱行動としての「有標行動」が生み出す「ポライトネス効果」**

宇佐美まゆみ (2002) 連載「ポライトネス理論の展開 (1-12)」『月刊言語』31 (1-5、7-13)、大修館書店

## 6.自然会話を素材とする教材 (画面イメージ)

指導可能な現象 この7発話中にも...

- スピーチレベルシフト
- 隣接応答ペア（2重構造）
- 同一話者の同一相手に対する「はい」、「うん」、「はい」

NCRB 自然会話コーパスバンク

観光旅行では行かない場所についての話

母語場面 / 接触場面	母語場面
話題	観光では訪れないような場所について
話者	良孝 E 夫
話者同士の関係	夫婦
スピーチレベルの基本状態	常体



ライン 番号	発話文 番号	話者	発話内容	説明
0001	1	妻	はい。	
0002	2	妻	あ、ごめん。	
0003	3	妻	どっちがいいですか、<どっちが><[.]、	説明
0004	4	夫	<サッカーで>><[.]しか行かない。	
0005	5	妻	うん。	説明
0006	6	夫	もなか。	
0007	7	妻	はい。	

Step1 Step2 Step3

Step1：イメージしてみましょう

▼表示する

▼表示する